

第2回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会

【公共交通総合連携計画の策定に向けて】

平成22年6月28日

1

目次

本日の協議会で重点的に議論していただきたい事項について	3
1.計画策定の背景と目的	4
2.公共交通連携計画の位置づけ	5
3.公共交通連携計画策定までの流れ	7
4.これまでに把握できている交通課題の整理	8
5.公共交通に関わる交通課題の抽出	14
6.今後の予定	18

2

本日の協議会で重点的に議論していただきたい事項について

本日の協議会で、以下について重点的に議論していただきたいと考えております。

基本理念(案)

課題分析のために必要な調査内容

3

1.公共交通総合連携計画の基本理念

奈良中心市街地

:奈良中心市街地は、世界遺産「古都奈良の文化財」をはじめとする重要な史跡・文化財が数多く点在
:年間1400万人の観光客が来訪、平城遷都1300年祭を契機に更なる増加が想定

観光交通の増加から交通渋滞や環境悪化などの問題が深刻化

環境負荷の小さい交通体系の構築が必要

基本理念(案)

地域に親しまれ、観光客に好まれる、公共交通網の構築による地域活性化の実現

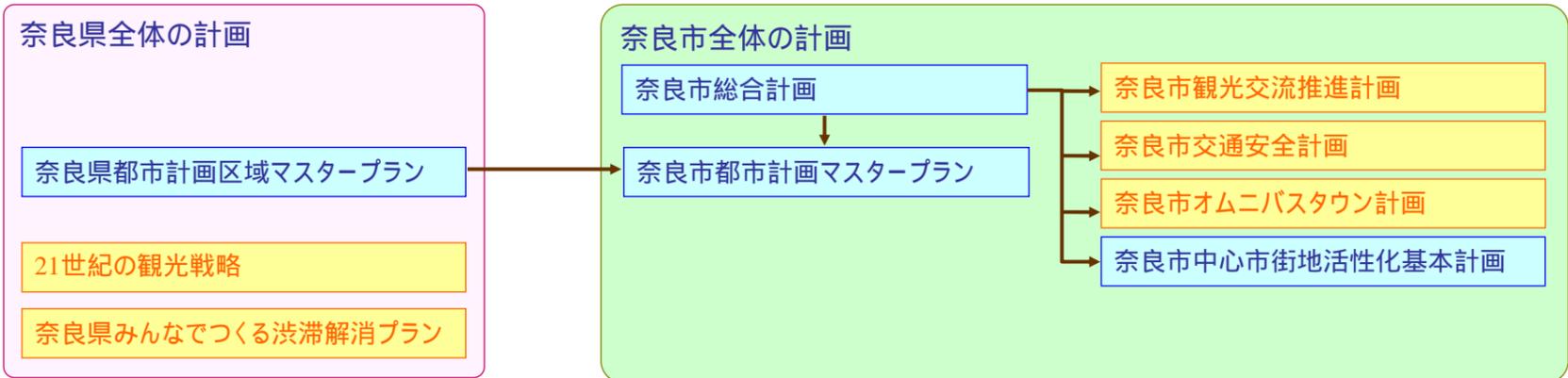
地域の快適性向上と活性化
観光客の満足度の向上
世界遺産など奈良の文化財や自然環境の保護

4

2.公共交通総合連携計画の位置づけ

まちづくり全般の計画

交通・観光等分野別計画



奈良中心市街地における交通に関わる考えを踏襲

奈良中心市街地における交通に関わる考えを踏襲

奈良中心市街地における交通対策

奈良中心市街地交通処理対策検討委員会

・中心市街地の交通処理に関わる施策検討(道路交通・公共交通など交通全般)の基本方針を検討

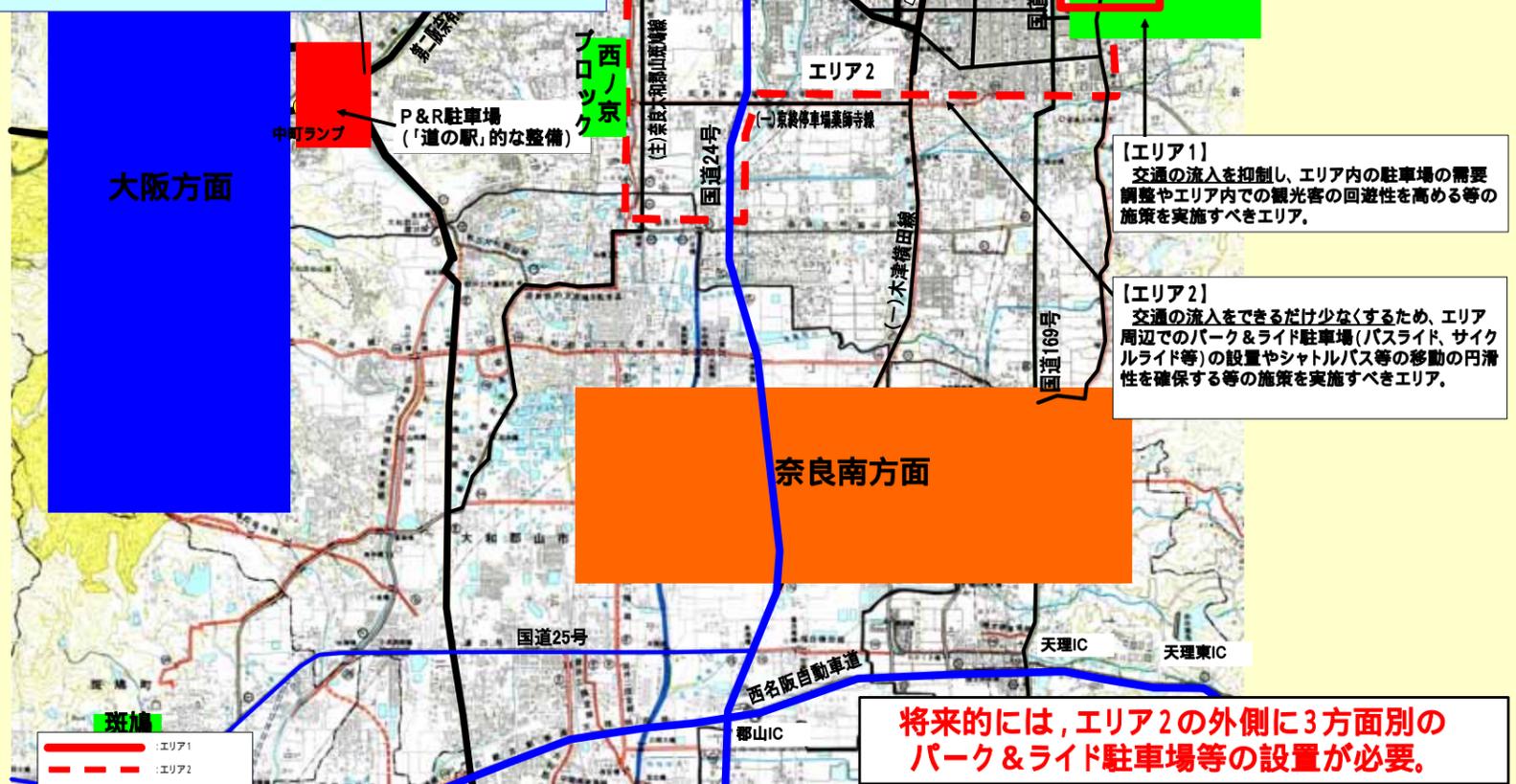
公共交通に関わる施策実施に向けた検討

奈良中心市街地公共交通活性化協議会 奈良中心市街地公共交通総合連携計画

奈良中心市街地交通処理対策検討委員会における基本方針

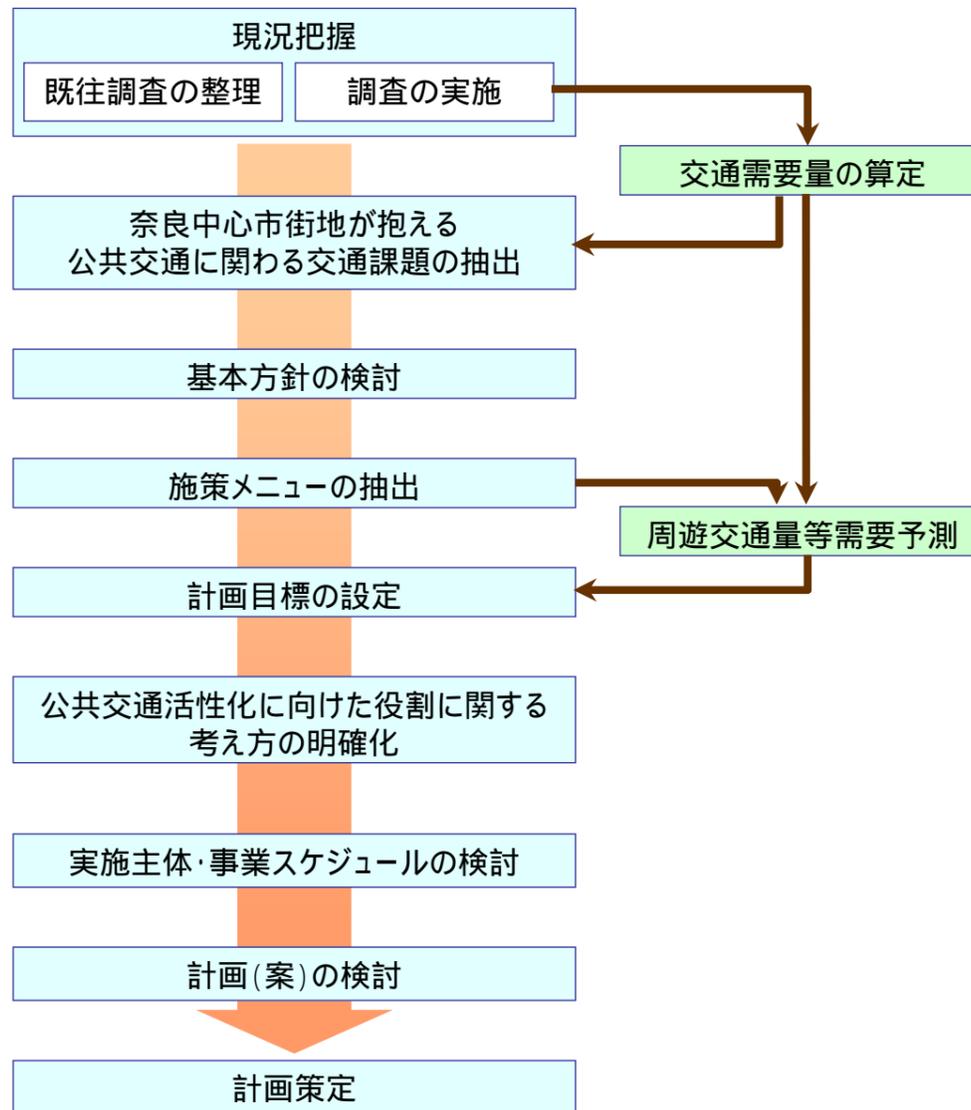
- ・観光客へのアンケート調査・交通実態調査等より交通特性を把握。
- ・中心市街地を2つのエリアに分け、各エリアの交通処理に関する基本方針を決定

- エリア1:
奈良公園内および周辺地域
- エリア2:
西の京～平城宮跡～エリア1を取り巻く地域



将来的には、エリア2の外側に3方面別のパーク＆ライド駐車場等の設置が必要。

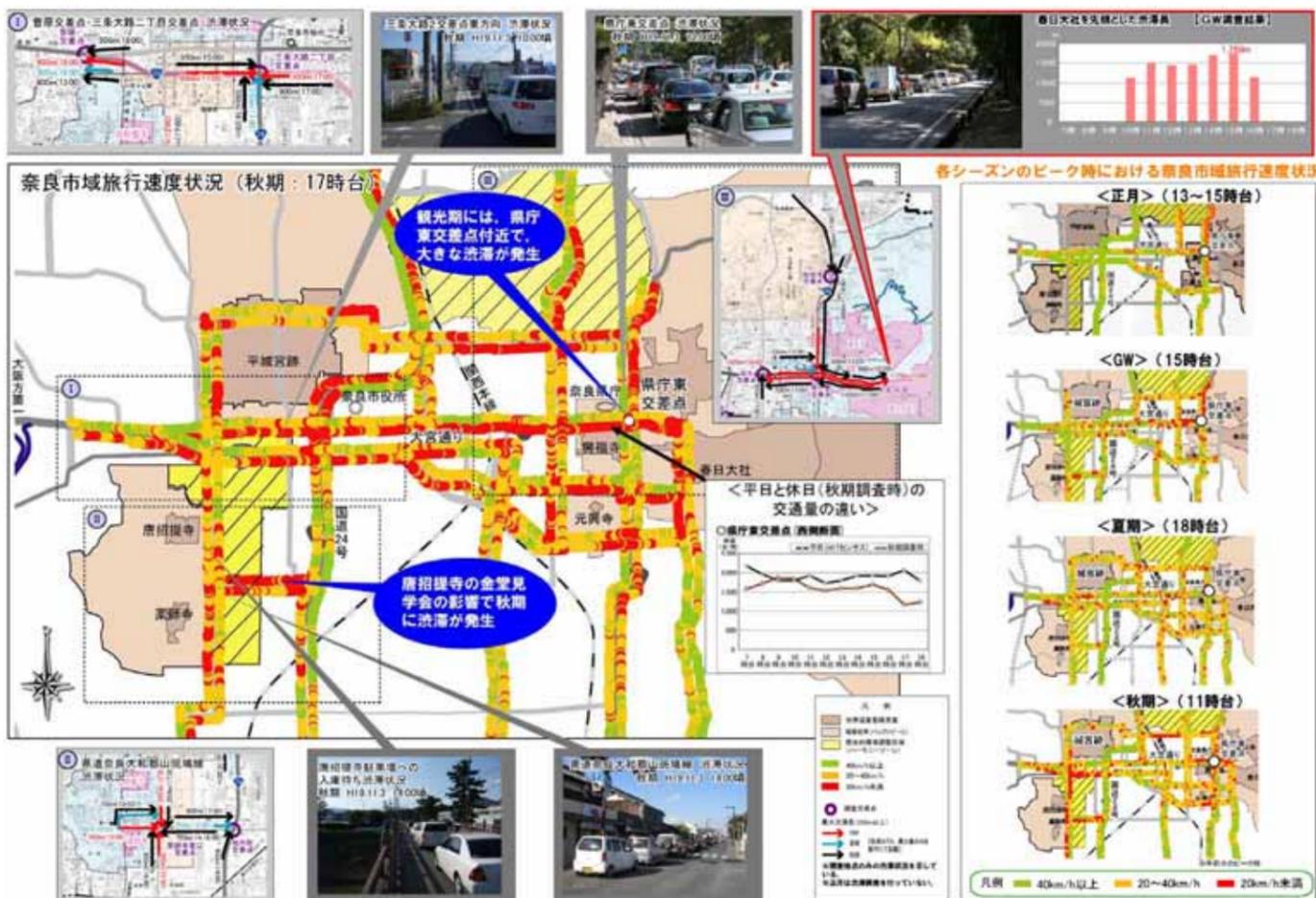
3.公共交通連携計画策定までの流れ



4.これまでに把握できている交通課題の整理

既存資料、既存調査における交通課題

- ・奈良公園ブロックに世界遺産が集中していることもあり、来訪者の多くは奈良公園ブロックを目的地として集中し、渋滞が発生
- ・奈良公園ブロックへの来訪者は、大宮通りを利用する方が圧倒的に多く、次いで国道24号、国道169号に集中
- ・薬師寺東交差点ではイベント開催時に過度の交通集中により渋滞が発生



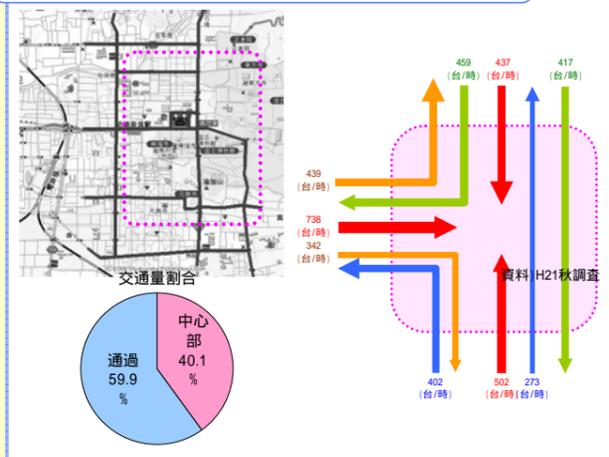
奈良中心市街地への自動車交通の流入抑制が必要

出典) 第2回中心市街地交通処理対策委員会

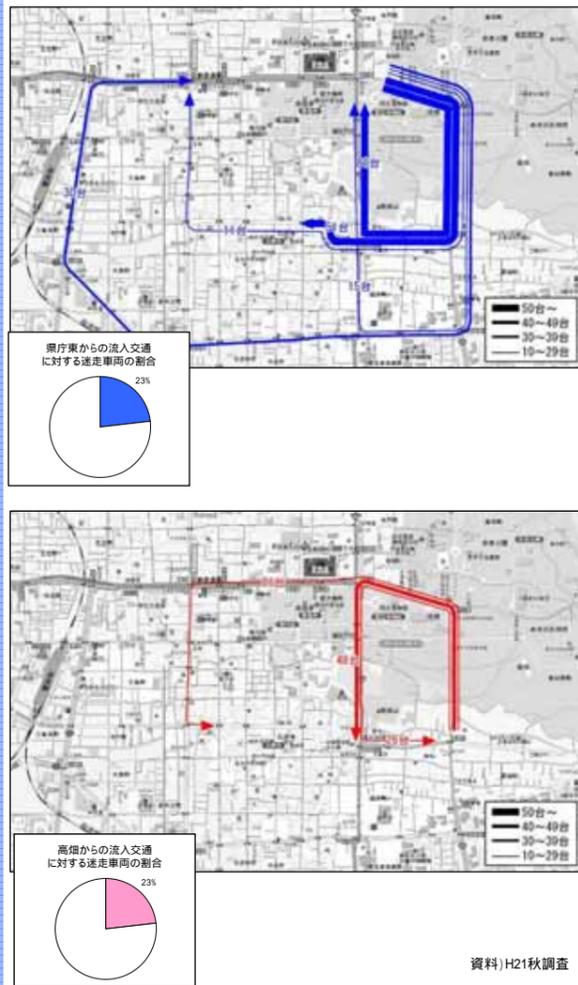
・中心部に流入する車両の4割が中心市街地内に用のある交通であり、奈良公園内および周辺駐車場を利用する来訪者の割合は非常に高い
 ・奈良公園内の駐車場が満車にもかかわらず駐車しようとする車両が多く、結果として迷走車両となり中心市街地内を迷走するため、公園周辺での交通渋滞が悪化

奈良中心市街地への流入状況

中心部への流入交通割合



駐車場探しの迷走車両が発生



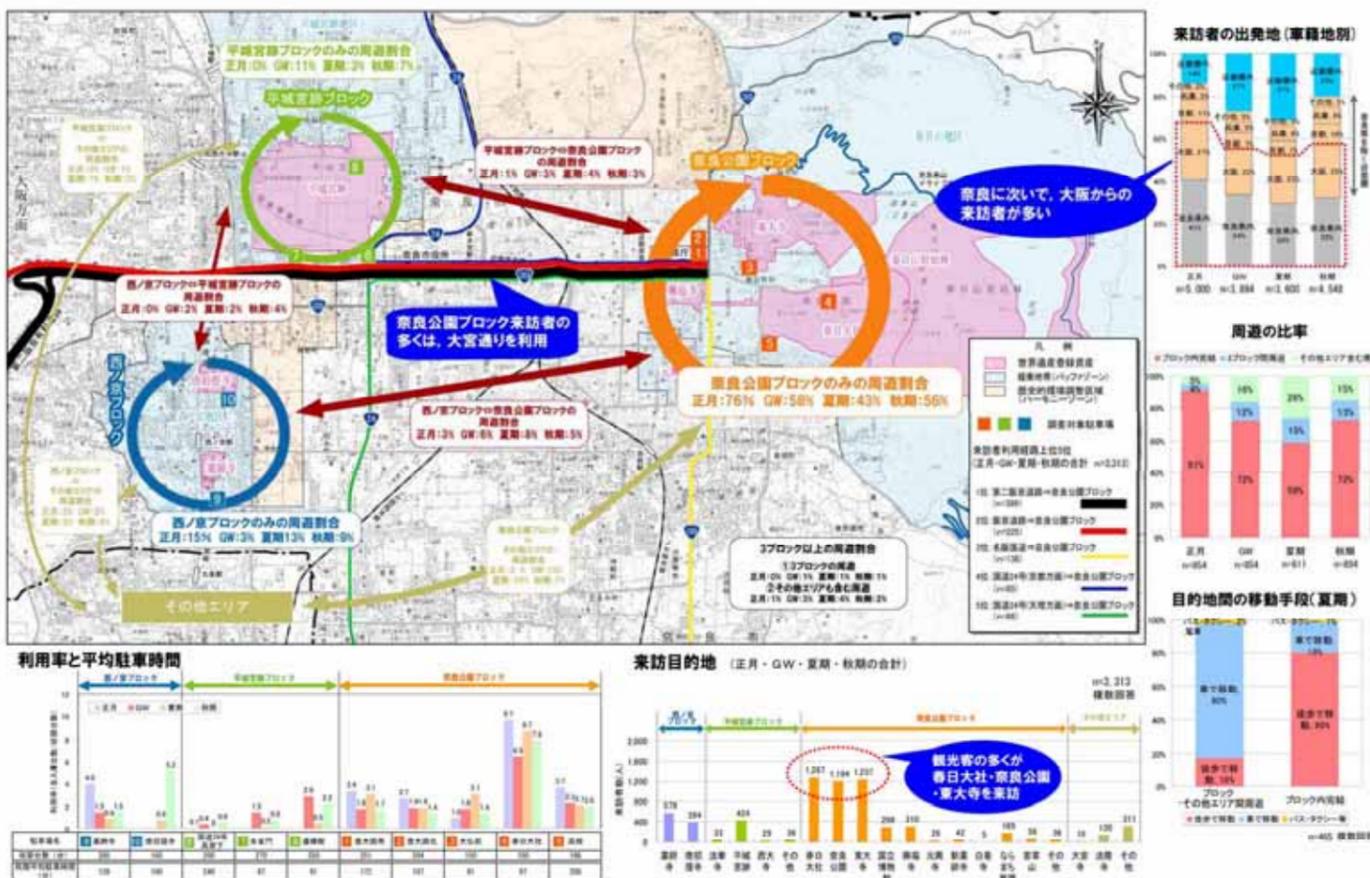
奈良公園まで来訪する自動車に対して、流入抑制に加え、空き駐車場への誘導が必要

出発地別駐車場ブロック割合



出典) 第7回中心市街地交通処理対策委員会

・来訪客は奈良公園に集中
 ・平城宮跡や西ノ京への来訪も多いものの、中心市街地内での周遊は非常に少ない



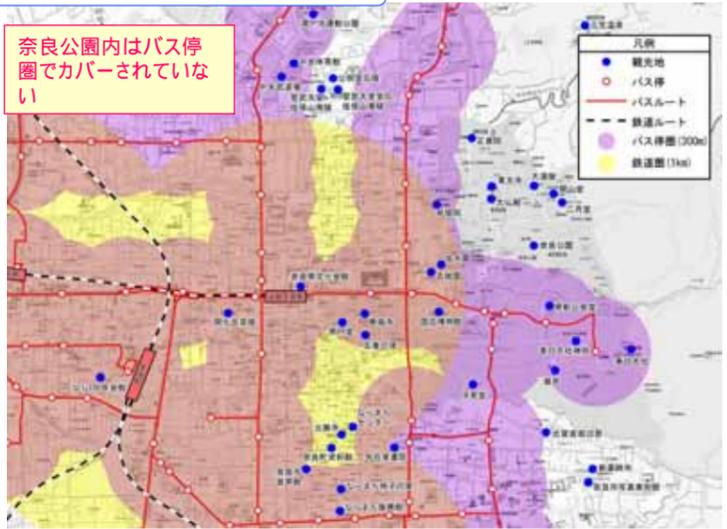
中心市街地活性化のためには中心市街地内における周遊観光の拡大が必要

出典) 第2回中心市街地交通処理対策委員会

・奈良公園内はバス停圏(300m圏)にカバーされていない
 ・観光客は東大寺や春日大社に集中し、訪れたい場所に行くことが出来ない
 ・一方、滞在時間は短く、消費額も少ない

公共交通カバー圏と観光施設

奈良公園内はバス停圏でカバーされていない



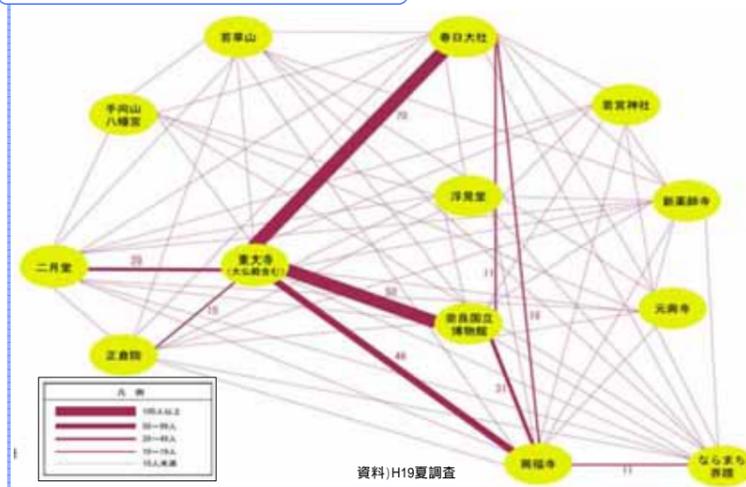
訪れたかったが訪れることができなかった場所

正倉院や若草山、新薬師寺などバス利用圏外については、希望していたが訪ねることが出来ない

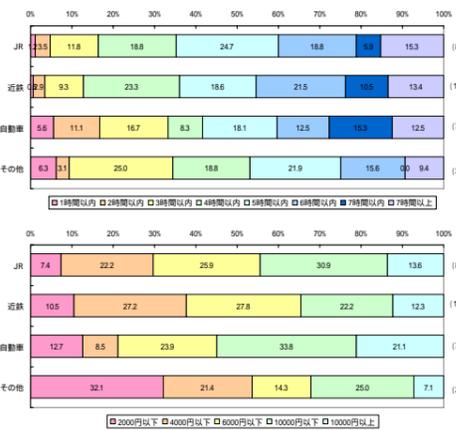


奈良公園内における回遊性の向上が必要

奈良公園内の流動状況



奈良公園における滞在時間・消費額



出典) 奈良県実施調査

社会実験の実施(H20・21秋)

出典) 第7回中心市街地交通処理対策委員会

【渋滞対策: 来訪交通】

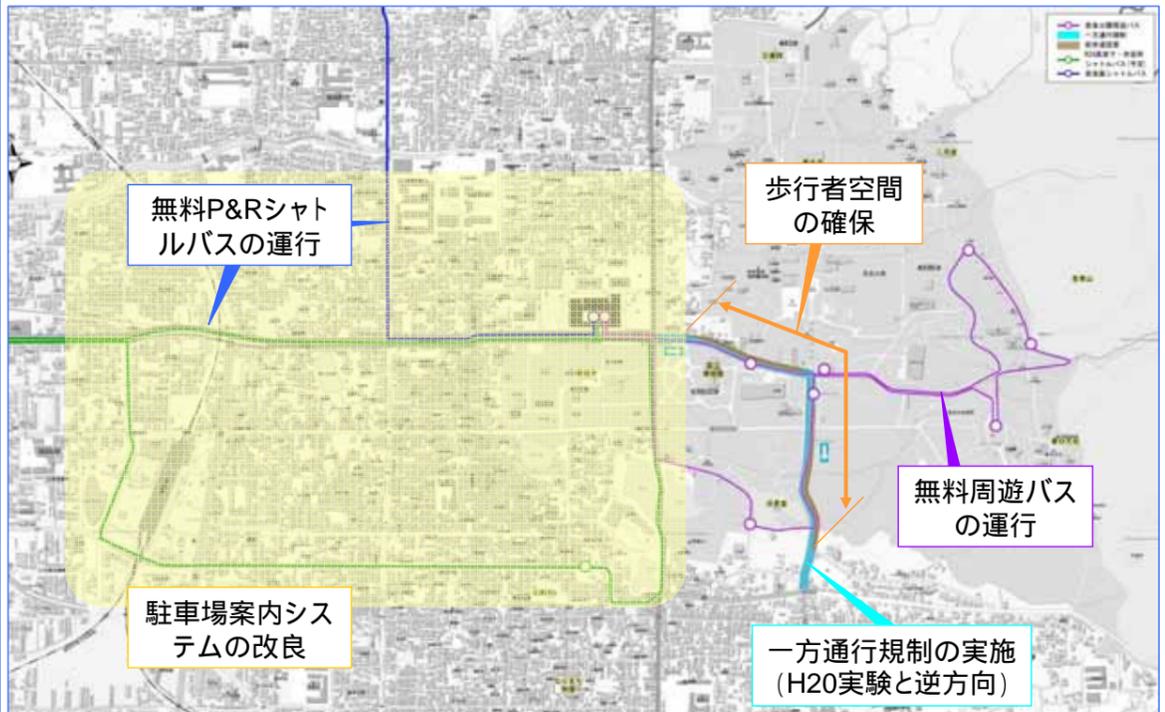
- 公共交通への転換 → 種々の媒体を活用した広域的な広報の実施
- P&R利用の促進 → 国道24号高架下・市役所・奈良阪での駐車場設置
→ 無料シャトルバスの運行
→ 種々の媒体を活用した広域的な広報の実施
- 奈良公園周辺駐車場への誘導 → 駐車場案内システムの改良
→ リアルタイム所要時間情報の提供

【渋滞対策: 通過交通】

- 広域的な迂回喚起 → 広域的な広報による事前周知徹底
→ リアルタイム所要時間情報の提供

【奈良公園の魅力向上】

- 回遊性向上 → 公園内周遊バスの運行
- 公園らしい雰囲気醸成 → 歩行者空間の確保
→ 一方通行規制の実施

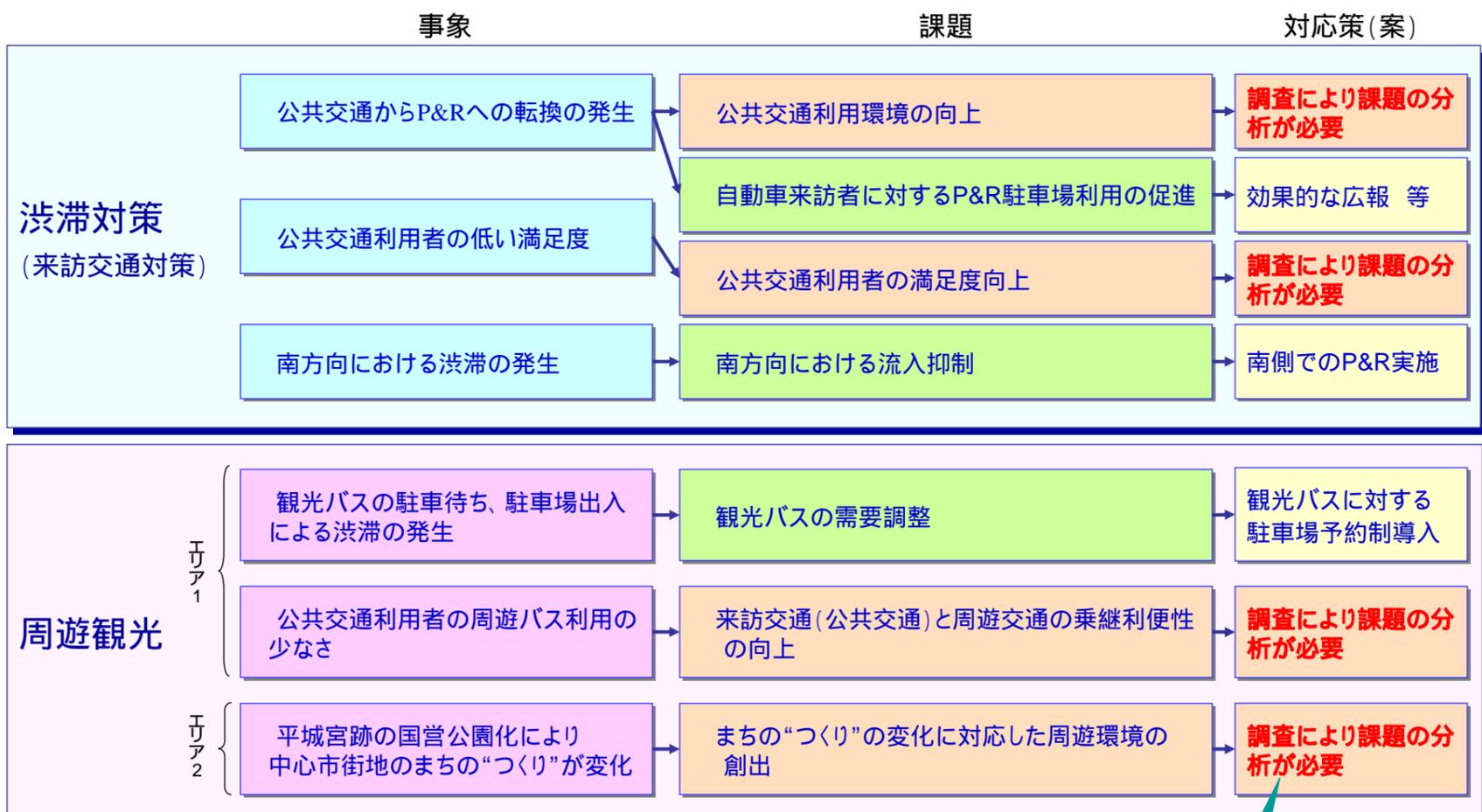


	誘導ステップ	効果検証の視点	効果	課題	恒久実施に向けて検討する内容
渋滞対策	STEP1 公共交通等への 転換誘導	公共交通への転換に 効果的な情報	インターネットによる事前周知が効果的 周遊バスの運行が効果的 公共交通による来訪者は他の手段に比 べ満足度が高い	交通手段の広報により公共交通から P&Rへの交通手段の転換が生じている 交通手段を転換して公共交通を利用し た人は非転換者に比べ満足度が低い	周遊バスの運行 効果的なホームページの運営 公共交通利用環境の向上
	STEP2 P&R駐車場への 誘導	P&R利用促進に効果的 な情報提供 シャトルバスサービ スに関する検証	北側からの流入抑制に奈良P&R駐 車場は効果的 事前の混雑情報の提供が効果的 奈良公園への直行バスが効果的	南からの来訪者のP&R駐車場がない	シャトルバスの運行 効果的なホームページの運営 混雑などの効果的な情報提供の検討 南方向のP&R 看板による案内の徹底
	STEP3 奈良公園周辺の 駐車場への誘導	空き駐車場への案内	駐車場案内システムの改良により案内 情報の活用者が増加	駐車場情報の提供方法 カーナビ利用者に対する駐車場の案内	駐車場情報の提供方法 カーナビのVICS情報にP&R駐車場情報の 追加検討
	STEP4 帰宅時における 誘導	ルート・時間の分散 化	大宮通りの帰宅時間の混雑が緩和	所要時間情報の提供による効果的な帰 宅分散化	帰宅時の案内誘導経路 ETC技術を活用したポイントバックによる、 帰宅時間の分散誘導
通過交通	STEP1 広域的な迂回喚 起	通過交通の抑制に 資する迂回案内	所要時間情報の提供は通過交通の迂 回に効果的 奈良公園周辺住民への事前周知には 道路情報板(既設)・横断幕・看板ちら し・ポスターが効果的	広域的な迂回案内	道路交通情報の提供方法 所要時間情報の提供箇所の拡大
	STEP2 市街地内での迂 回喚起				
周遊観光	歩行者空間の創 出	歩行者支援の評価	飛火野・浮見堂エリアへの歩行者観光 客の増加 仮歩道設置に対する高い評価	登大路地下道での歩行者動線の分断 自転車交通対策	歩行者への適切な案内 自転車レーン
	奈良公園への流 入交通の抑制	交通規制の評価	社会実験結果を踏まえた地元の規制に 関する意向の確認ができたこと 奈良公園内への自動車流入が半減	一方通行規制の導入に地元の3割が反 対 大仏前駐車場への観光バスの出入り	一方通行規制の導入について地元合意 観光バスを対象とした駐車場予約システ ムの導入 登大路バスターミナル
		エリア1周辺 への影響	北側、西側の渋滞を抑えることができた	県庁東交差点から南方向に渋滞が発生 高畑・福智院北交差点の交通処理	南方向のP&R 高畑・福智院北交差点の交差点改良
	回遊性 の向上	周遊バスの運行 新たな周遊交通 手段の導入	周遊バスにより若草山麓等への周遊拡 大	公共交通利用者への周遊バス運行の周 知	登大路バスターミナル

赤字は公共交通に関わる事項

5.公共交通に関わる交通課題のとりまとめ

現段階で確認できている公共交通に関わる交通課題



まちのつくりが変化した状況
下における周遊状況の把握
が必要

調査方法(案)

渋滞対策(来訪交通対策)

<課題>

公共交通利用環境の向上
公共交通利用者の満足度向上

<調査方法>

【対象】	【調査時期】	【調査箇所】		【調査内容】
住民 観光客	9月 (1300年祭 フェア期間外)	実数調査	鉄道駅 バスターミナル タクシー乗り場 等	鉄道利用者数 バス利用者数 タクシー利用者数 等
		アンケート調査 (直接配布・ 郵送回収)	鉄道駅 バスターミナル 主要駐車場 病院 等	移動状況 移動手段 満足度 求めるサービス水準 等

周遊観光

<課題>

来訪交通(公共交通)と周遊交通
の乗継利便性の向上
まちの“つくり”の変化に対応した
周遊環境の創出

<調査方法>

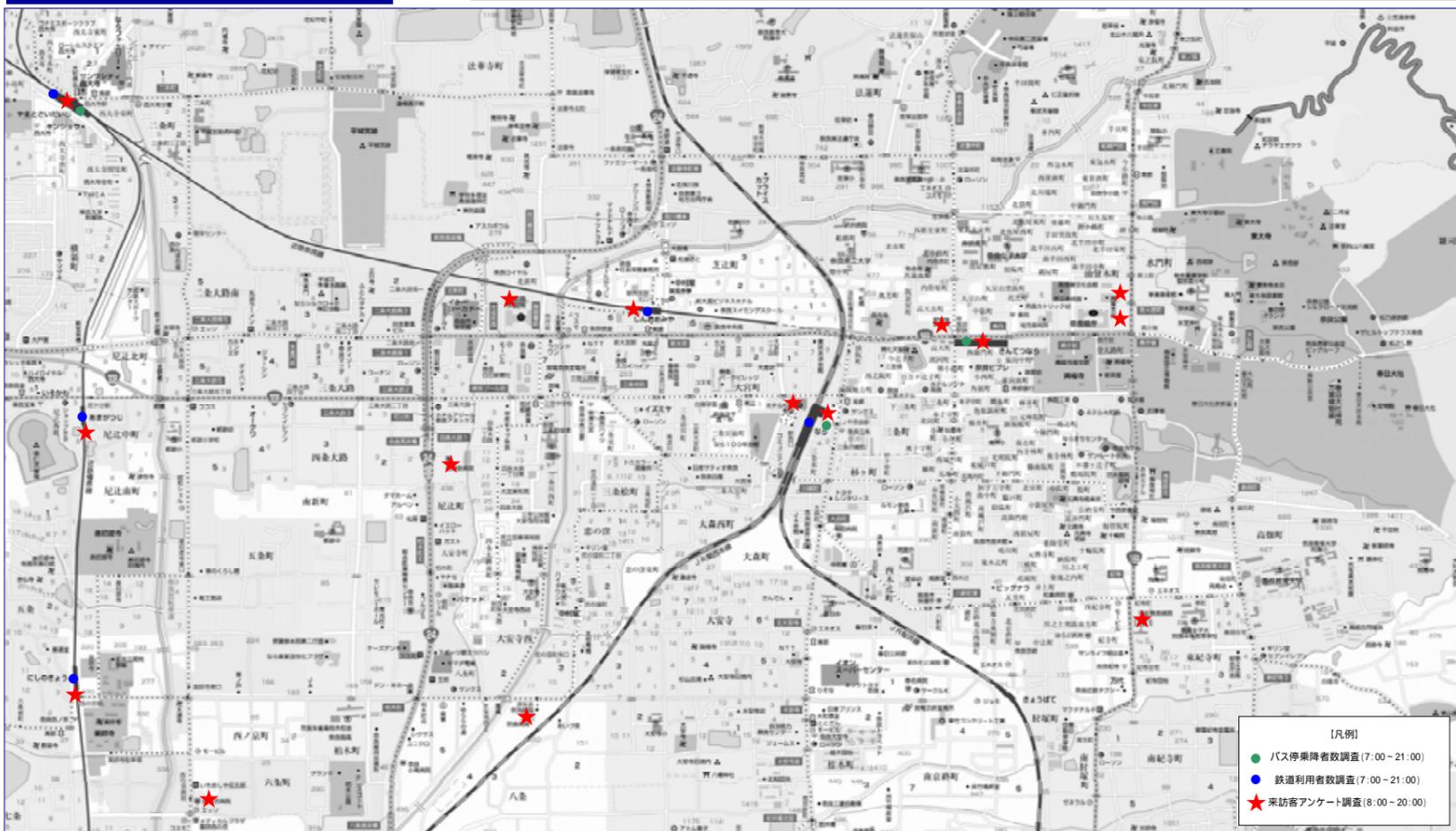
【対象】	【調査時期】	【調査箇所】		【調査内容】
観光客	5月・10月 (1300年祭フェア 期間中)	実数調査	観光施設周辺の 道路 バス停 駐車場 等	観光拠点への入込客数 歩行者数・自転車台数 路線バス停降車数 駐車台数(観光バス・一般)
		アンケート調査 (直接配布・ 郵送回収)	観光拠点 等	周遊状況 周遊手段 消費・滞在時間 施策実施時の意向 など

調査の実施概要

日常的な中心市街地内における
公共交通の利用状況を把握す
ることが必要

市民市街地内移動状況調査

対象: 奈良中心市街地内の日常移動
調査時期: 9月(平日・休日)
調査内容: 奈良中心市街地内における移動状況等移動特性(アンケート)
鉄道駅利用者数・主要なバス停の乗降者数

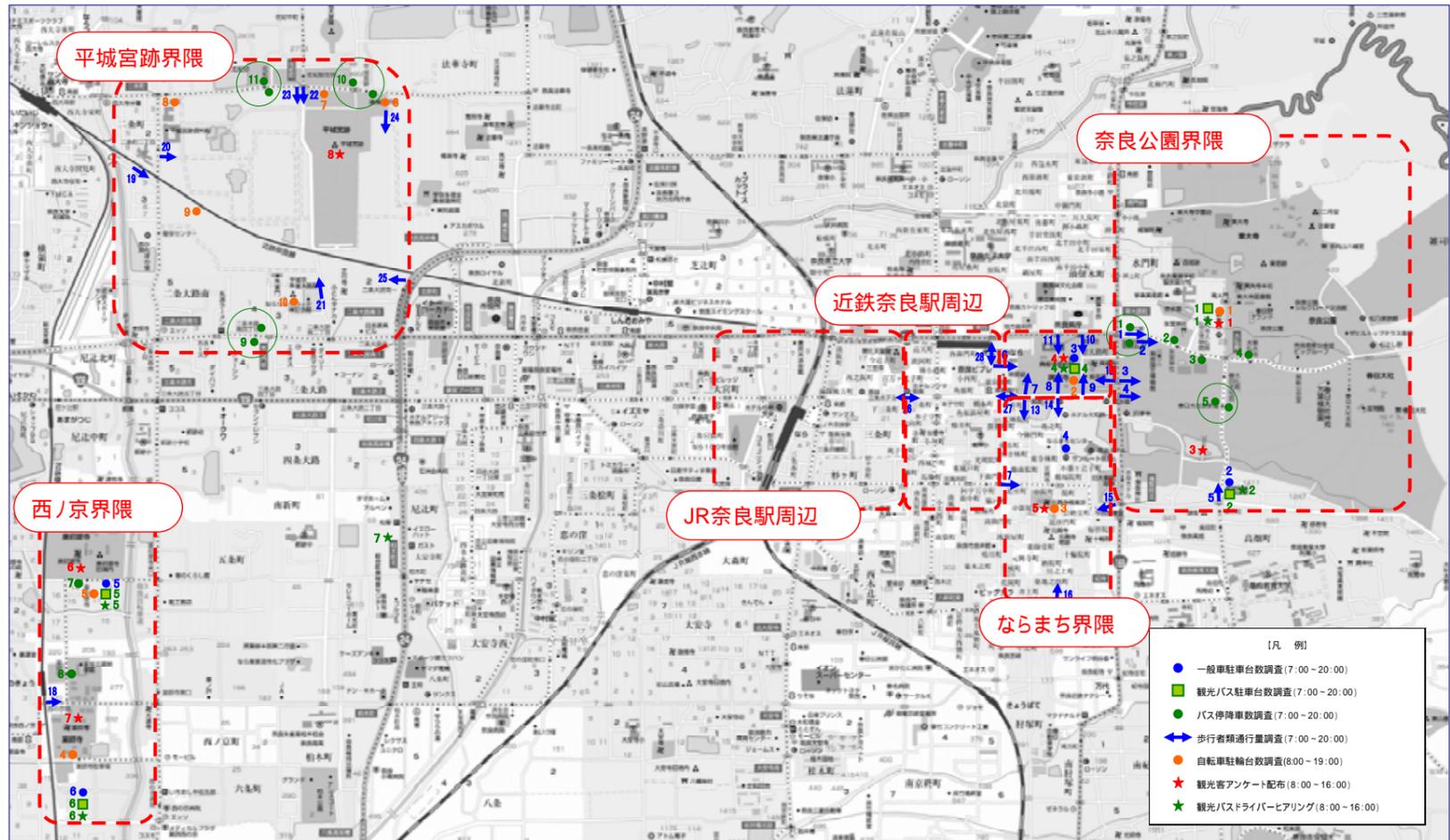


調査の実施概要

平城宮跡国営公園化時と類似した状況下での周遊状況を把握することが必要

周遊観光実態調査

対象： 奈良中心市街地における観光客
 調査時期： 1300年祭フェア期間中の休日 春季フェアは実施済み
 調査内容： 観光客の中心市街地内における観光行動(アンケート)
 各施設の来訪客数(各施設周辺の駐車台数・バス停降車人数・歩行者数など)



6.今後の予定

今後の予定

項目	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
活性化協議会						(第3回)	(第4回)	(第5回)	
現況把握	→		住民調査	観光調査	→				
奈良中心市街地が抱える交通課題の抽出		→			→				
公共交通連携計画の基本方針			→			→			
施策メニューの抽出			→			→			
計画目標の設定				→	→	→	→		
公共交通活性化に向けた役割に関する考え方の明確化							→		
実施主体・事業スケジュールの検討							→		
計画(案)の検討							→	→	
計画策定									→
1300年祭フェア		夏期フェア (8/20~8/27)		秋期フェア (10/9~11/7)					
実証事業(企画切符販売)		→		→					

第3回協議会の議題(案) H22.12開催予定

調査結果の整理
 基本方針の設定

中心市街地における課題の抽出
 施策メニューの抽出